広告　企画・制作／読売新聞社広告局

心臓弁膜症 早めにチェック!

心臓弁膜症

～ あなたの頑張っている心臓のおはなし ～

散歩や階段の上りで息切れしたり、立ち止まったり。早足で歩くと胸が痛むことがある……。その症状は「大動脈弁狭窄症」のサインかもしれません。超高齢社会で急増している心不全の原因の一つである心臓弁膜症。そしてその一つである「大動脈弁狭窄症」は、大動脈弁が加齢によって開きにくくなり、全身に血液を送り出す心臓のポンプ機能が低下する病気です。患者さん本人が気づきにくいのが特徴ですが、早期に受診して正確な診断を受けると治療の選択肢も広がります。特に近年は、患者さんの体に負担の少ない治療法が大きく進歩しています。「人生100年時代」を迎えた今、健康で長生きするには正しい知識と対策が不可欠です。そこで、兵庫県内で地域医療に貢献している循環器内科の先生方に大動脈弁狭窄症の病態や治療法についてお聞きしました。

心臓弁膜症、その一つである大動脈弁狭窄症（きょうさくしょう）

気づきにくい大動脈弁狭窄症の症状とは？

兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科部長 医療情報部長 宮本 忠司（みやもと ただし） 先生

大西　心臓は全身の臓器に血液を送り出すポンプの役割を果たしています。その拍動の数は1日に約10万回に上ります。心臓は上下・左右に四つの部屋（右心房・右心室・左心房・左心室）に分かれており、血液を効率よく送るために部屋と部屋の間、血管と部屋の間に「弁」があります**図1**。これらの弁が正常に働かなくなり、心臓の機能が低下した状態が「心臓弁膜症」です。

宮本　代表的な心臓弁膜症が「大動脈弁狭窄症」です。加齢による弁の変性などが原因となり、大動脈弁に石灰がたまって硬く変形し、開きにくくなります。軽症・中等症・重症・超重症と進行し、重症以上になると手術治療が必要になります。最初のうちは症状が出にくいのですが、進行するとこれまで何ともなかった動きで息切れしたり、さらに悪化すると心臓が本来の役割を果たせなくなり、「心不全」へとつながっていきます。突然死に至る可能性もあります。超高齢社会を迎えた日本では心不全の患者さんがどんどん増えています。ピークを迎えるであろう2030年には130万人と推計※1されており、「心不全パンデミック」の時代はすでに始まっています。心不全の原因とされる大動脈弁狭窄症は、重症の患者さんが50万人を超えていると推定されているにもかかわらず、治療を受けているのは年間でわずか約2万人です※2。

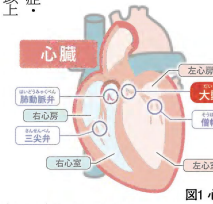

図1 心臓の構造

※1 Okura Y, et al. Circ J. 2008; 72: 489-91.
※2 Committee for Scientific Affairs. Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021;69:179-212.

大西　大動脈弁狭窄症が進行すると息切れ、動悸、胸の痛み、足のむくみなどの症状が表れ、まれに失神することもあります。この病気が悪くなり始めるサインは、例えば自宅の階段の上り下りや日課の散歩での坂道、布団の上げ下ろし、洗濯物を干したり取り込んだりといった日常の行動の際に息切れを感じたときです。ご家族の方が気づくこともあるかもしれません。一緒に買い物をしていて歩く速度が遅くなったり、息切れしてゼーゼーと

加齢とともに進行する「大動脈弁狭窄症」まずは定期的な聴診や心エコー図検査が重要

宮本　診察では、まず問診を行い、聴診器で心音を聴診します。心雑音があり、大動脈弁狭窄症の疑いがある場合は心エコー図検査（心臓超音波検査）を行い、重症度を判定します。検査の所要時間は20分程度と患者さんの負担は少ないです。重症にもかかわらず症状を自覚していない方もいらっしゃいますので、半年～1年に1回はかかりつけ医や市民検診、人間ドックなどで検診を受けていただきたいです。

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 循環器内科医長 大西 哲存（おおにし てつあり） 先生

大西　症状を感じていない方は運動負荷心エコー（自転車漕ぎ）で見つかるケースも多いです。大動脈弁狭窄症は加齢とともに進行し、自然に治る病気ではありません。つらい症状があるのに「もう年だから……」と検査や治療を諦めている高齢の方が多いのですが、近年は体への負担が少ない治療も普及しています。高齢の患者さんの中には、3か月前に治療を受けて回復され、「長い間悩んでいたけど、こんなに楽になるならもっと早く治療を受ければよかった」と喜ばれる方もいます。今、悩んでおられる方はぜひ、信頼のおける医師に相談してみてください。

宮本　症状のある方はもちろん、症状を感じていない方も定期的な検診（かかりつけ医の受診や市民健診、人間ドックなど）を受けて、病気にかかっている可能性があるかどうか確認してください。疑いがあれば、精密検査や手術を含めた必要な治療を行うことができる専門病院を紹介してもらえますので、受診をためらわずにご相談いただきたいと思います。

進化した大動脈弁狭窄症の手術治療

重症以上の大動脈弁狭窄症では手術治療を検討

兵庫県立尼崎総合医療センター 循環器内科部長 当麻 正直（とうま まさなお） 先生

当麻　大動脈弁狭窄症と診断され、軽症・中等症、重症化して間もない段階では薬で症状を緩和し経過観察を行う「保存的治療」を行います。症状が出ている重症者や、無症状であっても重症度が極めて高い場合は手術治療となります。

高橋　手術治療は大きく分けて2通りあります。開胸して機能しなくなった大動脈弁を取り除いて人工弁（生体弁または機械弁）に取り換える「外科的弁置換術（SAVR※3）」と、開胸せずにカテーテル（細い管）を使って血管から治療を行う「経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI※4）」です**図2**。

当麻　SAVRは人工心肺装置を使って心臓の動きを止めて行うため、患者さんの体に負担がかかりますが、長期間の手術成績が確立した治療法です。

高橋　TAVIは体外弁を装着したカテーテルを、太ももの付け根の大腿動脈などの血管から心臓まで運び、狭窄した大動脈弁の内側に留置する治療法です。TAVIは開胸の必要がないため、傷の治りや術後の痛みも比較的少ない治療ですが、2013年に保険適用になった治療法ですので長期成績や弁の耐久性については明らかになっていません。

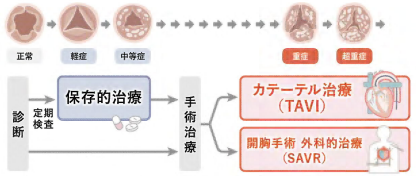

図2 大動脈弁狭窄症の治療方法

※3 SAVR：Surgical Aortic Valve Replacement
※4 TAVI：Transcatheter Aortic Valve Implantation

当麻　手術治療の選択は、循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、検査技師、臨床工学士、理学療法士、看護師らで構成する「弁膜症チーム（ハートチーム）」が検討します。20年に改訂された日本循環器学会などが提唱するガイドラインでは、手術治療の選択には患者さんの年齢や虚弱度（フレイル）などを考慮し、患者さんに両方の治療法について説明をしたうえで、患者さんの価値観や希望を聞き、弁膜症チームで決定することを推奨しています。

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 循環器内科医長 髙橋 伸幸（たかはし のぶゆき） 先生

心不全に進行すると手遅れになることも 適切なタイミングで手術治療の検討を

高橋　実際に手術治療を受けられた患者さんの中には、以前は外出するのもつらくて、伝い歩きをしていたほどであったのが、治療後外来の診察に歩いて来られるようになる方もいらっしゃいます。旅行に出かけられる方も多くへ、皆さん人生を楽しんでおられます。

当麻　手術を受けるのは誰しも不安に感じるものです。しかし、大動脈弁狭窄症は進行性の病気です。悪化しているにもかかわらず、治療せずに最終的に心不全の状態で緊急で病院に運ばれてくる患者さんもいらっしゃいます。その場合はすでに全身状態が悪いことが少なくなく、計画的に手術治療の準備をして待機している患者さんに比べて、リスクが高くなる可能性があります。やはり早期に病気を発見し、適切なタイミングで治療を受けることが大変重要です。また、これまで高齢なので治療を諦めていた患者さんでも今は体への負担が少ない治療法もありますので、まず専門医に相談してください。

高橋　大動脈弁狭窄症は内服治療では弁そのものを治すことはできず、命に直結する病気であることを知っていただきたいです。今は高齢の方にも選択いただける治療法が確立している時代です。つらい症状を我慢している方は一日も早く信頼できる専門医を訪ねられることをおすすめします。

当麻　近年の社会現象として「老々介護」のご夫婦が多いように見受けられます。「夫（または妻）を介護するのに、自分が病気を抱えたままでは共倒れになってしまう」ということです。手術治療を決心される方は多いです。外科的手術もTAVIも、いずれの手術も発展しています。勇気を出してまずは受診していただきたいと思います。

最近、こんなこと、こんな症状がないかチェックしてみましょう

- □ 散歩の途中で立ち止まるようになった
- □ トイレに行くだけで、胸がドキドキすることがある
- □ 階段を上るだけで、息切れが長引くことがある
- □ 早足で歩くと、胸が痛むことがある
- □ 外出するのが以前より億劫（おっくう）になった
- □ 風呂掃除や、洗濯物を干すときに息切れがする
- □ 坂道や階段のある場所を避けてしまう
- □ 突然、気を失ってしまうことがある

少しでも気になること、症状があれば、かかりつけ医や専門医に相談しましょう。お近くの病院などはこちら　弁膜症サイト

心臓弁膜症の小冊子を無料でお送りいたします

【お申し込みに関して】
氏名・住所・電話番号・メールアドレス・年齢を明記の上、はがき・FAX・Webのいずれかでご請求ください。

●はがき：〒171-0021東京都豊島区西池袋3-27-12 池袋ウエストパークビル「心臓弁膜症」資料請求事務局
●FAX　：0120-216-180「心臓弁膜症」資料請求事務局
●Web　：「弁膜症サイト」で検索。「資料請求フォーム」から。

エドワーズライフサイエンス株式会社
本社：東京都新宿区西新宿6丁目10番1号　edwards.com/jp

Edwards

【個人情報の取り扱いについて】情報は当社、若しくは当社が業務を委託する会社（以下、「委託先」といいます）より発送させていただきます。予めご了承ください。取得した個人情報（氏名・住所・メールアドレスなど）は心臓弁膜症に関する啓発情報の提供及び当社の疾患啓発サイト「心臓弁膜症サイト」を始めとした疾患啓発活動の改善を目的とした分析のために利用致します。当社及び委託先は個人情報の保護に関する法律、その他関連法令、及び当社プライバシーポリシー等に従い、個人情報を厳重管理致します。
Edwards、エドワーズ、Edwards Lifesciences、エドワーズライフサイエンスおよび定型化されたEロゴは、Edwards Lifesciences Corporation またはその関係会社の商標です。©2022 Edwards Lifesciences Corporation. All rights reserved.
EW2022052